

ワクワク発見！ ズーラシート

植物をみてみよう！

<メモ>

学校 年 組 番

名前



横浜市立よこはま動物園

動物たちは、どんな気候帯でくらしているかな？

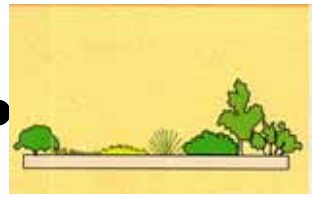
ズーラシアでは、どのゾーンにいたかな？ 線をつないでみよう。

ゾーンの名前

気候帯

動物

アジアの熱帯林 ●

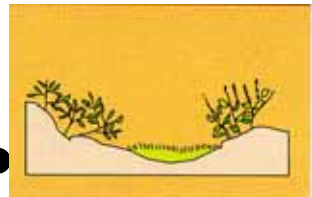


木がまばらな草原

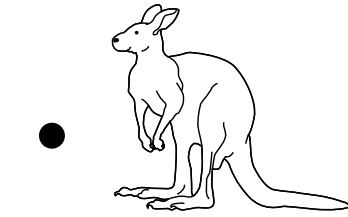


アムールトラ

亜寒帯の森 ●

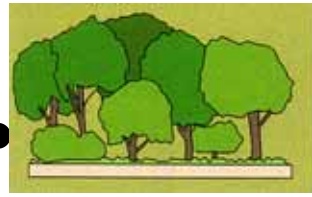


高くけわしい山

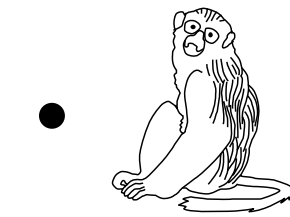


アカカンガルー

オセアニアの草原 ●



四季のうつりかわりがある森

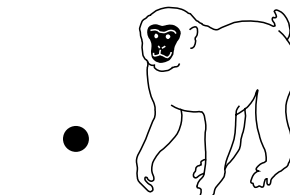


キンシコウ

中央アジアの高地 ●

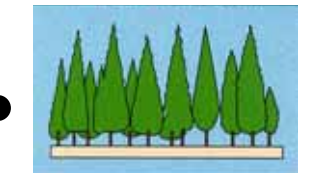


たくさんの生き物がすむ、あつくて雨の多い森

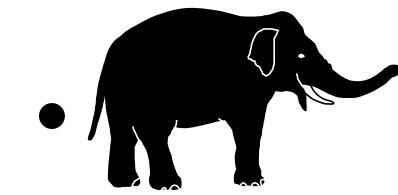


ニホンザル

日本の山里 ●



さむい針葉樹の林



インドゾウ

ゾーンごとの動物や植物をみてみよう！

どんな動物や植物があるかな？ スケッチしてみよう！



アジアの熱帯林には、どんな植物が多いかな？



形のちがう植物を2つかいてみよう。

「バショウ」の葉をスケッチしてみよう！
やさしくさわってみて、かんそうもかこう。

()

()

()

どんな植物が多いかな？ 気づいたことを書こう！



亜寒帯の森には、どんな植物が多いかな？



形のちがう植物を2つかいてみよう。

「アカエゾマツ」の葉をスケッチしてみよう！
やさしくさわってみて、かんそうもかこう。

()

()

()

どんな植物が多いかな？ 気づいたことを書こう！

教員用

ズーラシアは、「熱帯」や「亜寒帯」などの気候帯別に、動物たちの生息地の自然環境を演出しています。それぞれの気候帯の雰囲気をもっとわかりやすく伝えているのは、植物です。そこで今回は植物に着目し、生息地の環境と動物との関わりについて考えるきっかけをつくることを目指しています。

学習のポイント

展示場の周りにある植物に目を向けてみましょう。
気候帯ごとの植物の違いをみつけてみましょう。

解説

動物たちは、どんな気候帯で暮らしているかな？ どのゾーンにいたかな？

地球上では、緯度によって太陽の熱量が異なり、高度によっても気温や降水量の差が生まれます。こうして地域によって異なる気候が生じ、その環境に適応した植物が育ち、植物を求めて動物が集まり、その気候ならではの生態系がつくりだされています。

これらの気候帯は大きく 10 に分けられ、ズーラシアではそのうちの 5 つを演出しています。

暖かくかわいた草原（熱帯草原） アカカンガルー オセアニアの草原

高い木や低い木がまばらに点在する草原です。

平らで見晴らしの良いこの草原では、草食獣は集団で暮らすものが多くなりました。

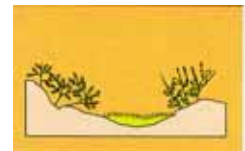


高く険しい山（山岳） キンシコウ 中央アジアの高地

山は平地と比べると気象が変化しやすく、風も強く降水量も多いのが特徴です。

標高が高くなれば気温も下がり、さらに苛酷な世界となります。

高山にはそのような環境に適応した特殊な植物、動物が生息しています。



四季の移り変わりがある森（温帯落葉樹林） ニホンザル 日本の山里

日本の里山は、古くから人によって維持されてきた自然です。

自然が回復できる範囲で、炭や薪を採取してきました。

クヌギやコナラからなり、豊かな生物相を持っています。



たくさんの生物がすむ暑い森（熱帯雨林） インドゾウ アジアの熱帯林

熱帯雨林は、年間を通して気温が高く、雨も多い地方の森で、

高さ 50m を超える樹木も珍しくありません。

大気中の酸素の 40% は熱帯雨林によって供給されているとも言われており、

この森は陸上の生物種の約半数が生息すると言われています。



針葉樹の森（亜寒帯林） アムールトラ 亜寒帯の森

「タイガ」と呼ばれるこの針葉樹林帯は、トウヒ、カラマツなどの同じ樹木が見渡す限り広がっている森です。

ヒグマやトナカイなどの動物たちも生息しています。



アジアの熱帯林にはどんな植物が多いかな？

ここでは、生徒さんに自由に植物を選んでいただいて、スケッチしていただきたいと思います。たくさんの木、そして色々な形の葉や花を観察しながら、多種多様な植物の存在に気づかれることでしょう。特にアジアの熱帯林はユニークな植物が多いため、動物だけでなく、植物への興味も自然と向けられると思います。

バショウをスケッチし、実際に触ってみて気づいたことを書いてみよう！

バショウの葉は、風で裂けやすいのですが、切れ込みがない1枚の葉としては、世界最大級の大きさです。バナナのように見える果実は、黒い種子をたくさん含み、食べられません。

(バショウ属のいくつかの種の果実を、種なしに改良したのが、「バナナ」です。)

亜寒帯の森にはどんな植物が多いかな？

亜寒帯の森は、針葉樹の森です。寒い地方の針葉樹は樹形が円錐形で、日光を効率よく吸収し、雪が積もってもすぐに滑り落ちるようになっています。かたく尖り肉厚の葉は、広葉樹に比べて凍りにくく、寒冷な気候に適応しています。アジアの熱帯林との植物の違いを感じながら、針葉樹の中にも様々な種類があることに気づいていただきたいと思います。(ドイツウヒ、ヒマラヤスギ、アカエゾマツなど)

アカエゾマツをスケッチし、実際に触ってみて気づいたことを書いてみよう！

アカエゾマツはペンギン展示場周辺にあります。触ってみると尖ってはいるものの丸みをおびており、枝は柔らかいです。また、近くのヒマラヤスギと比べてみても面白いと思います。

ヒマラヤスギの葉は、先端が鋭くなっています。触れる際は目に入らないよう気をつけてください。

～ 補足説明 ～

ズーラシアで演出している気候帯以外の、残りの5つの気候帯は、温帯草原・温帯多雨林・サバンナ・砂漠・ツンドラです。

現地に生えている植物は、気候の違う日本ではうまく育たないため、それに近い仲間かイメージが伝わるもので、横浜の気候でも丈夫に育つ植物を使っています。

< 発展学習 >

いろいろなゾーンの植物も、同じようにじっくりと観察し、違いを比べてみてください。

皆さんの身近にある自然も調べてみてください。

よりよい教育を実現させるツールのひとつとして、ズーラシートを通し、様々な動物園学習のつながりを提供していきたいと考えています。動物園をより有効に活用していただくために、単に動物のことを学ぶだけでなく、動物観察を通し、子供たちが様々な角度からものを考えることができるように工夫をしていきます。このズーラシートの活用事例、改善点など、どんなことでもお聞かせ下さい。私たちは先生方とともに教育を考え、そして子供たちと一緒に環境のことを考えていきたいと思っています。

ご意見の宛先、お問い合わせ先

市ポストもご利用いただけます

〒241-0001 横浜市旭区上白根町 1175-1

横浜市立よこはま動物園 動物課 教育普及担当

電話 045-959-1000